

春のまち美しく



地域のごみ拾いに汗を流す海星学院高校の生徒や
教職員、高砂町中央町会のメンバーら

海星学院高校生徒ら

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長)の運動同好会(廣瀬拓弥部長)などの生徒や教職員、保護者、高砂町中央町会(早坂正道会長)の総勢70人が4日、地域のごみ拾いを行い、「新入生や地域住民に気持ち良く新年度をスタートしてもらおう」と汗を流していた。同

昨年に続く取り組み。同好会はじめ生徒会やテニス部、インターナショナルクラブ、美術部、弓道部、管理職や教員などのほか、今年は保護者や同町会メンバーも加わった。3グループに分かれ同校からJR鷺別駅、室蘭東翔高校、市校

蘭中方面に向かって出発。地域住民とあいさつを交わしながら、たばこの吸い殻などを丁寧に拾い集めた。

同好会の佐々木海輝君は「住んでいるまちをしつかりきれいにしたい」、中野伊吹君は「新一年生や地域の方が気持ち良く通行できるようにしたい」と張り切っていた。香川校長は「高砂町は文教地区。まちをきれいにしますが、いい気持ちで新入学してほしい。地域の方々には目ごろお世話になっている。恩に感謝したい」と話していた。

(成田真梨子)